

所 属 鳥取県漁業協同組合御来屋支所
氏 名 ごしまくりすとふぁーびーたーたつき
五嶋クリストファーピーター樹 (22 歳)
船 名 ごしまる
五嶋丸 4 トン
漁業種類 刺網 (サワラ・アジ・ハマチ)、曳縄釣り (サワラ)、イカ釣り



～「ピーター」の愛称で呼ばれる御来屋地区期待の新人～

東京で育った五嶋さんは、子供の時にテレビで見たカツオ一本釣りやマグロ漁をする漁師の姿に憧れ、漁師への道を進むことを決意した。

高校卒業を機に鳥取へ移住し、平成26年に研修がスタート。御来屋地区の運営委員長の敦賀亀義さんが直々に指導にあたることとなった。さぞかし厳しい指導に耐えてきたのだろうと思われたが、「怒られたり、仕事が辛くてもやめたいと思ったことはない。理由を探し自分の中で解決していかないと」と、向上心を持って着々と技術を習得していったようだ。

平成29年6月に3年間の研修が無事に終了。「すべて自らの判断に任せられ、魚群探知機の反応が何の魚か、網を仕掛けて本当に獲れるのか不安だった」と、しばらくはなかなか水揚げが少ない日が続いたようだ。そんな五嶋さんを見かねた敦賀さんが、ハマチ網を五嶋さんに譲り、それらしき反応を頼りに網を仕掛けるとハマチが大漁。「思い立ったらとにかくやってみることが大切なことに気がきました」とそれ以降、徐々に水揚げが増えてきたそうだ。

今では、人懐っこいキャラクターで御来屋の漁業者ともなじみ、「御来屋の先輩漁業者方に早く追いつき、追い越すような一人前の漁師になりたい」と意気込んでいる。

～漁師のお嫁さん募集中～

体格の良い彼の好きなことは「食べること」。自分で獲った魚は血抜き、神経締めし、ハマチ・白いかの刺身、サワラの塩麴焼きなど鳥取のおいしい魚の食べ方を自身で研究している。

漁師として独立したピーターの次なる目標は「早く結婚して、一緒に漁の手伝いをしてくれる奥さんが欲しい」とのこと。若さ溢れ勢いに乗るピーターが素敵な女性と巡りあえることを願っている。

(文責：藤原 大吾)